

平成29年度 第1回 竹原市総合計画審議会

日時：平成29年11月10日（金）13：30～

場所：竹原市役所 3階 第1・2委員会室

1 開会

2 市長あいさつ

市長 （あいさつ）

3 委員紹介

事務局から委員を紹介

4 会長選任

伊藤委員を会長に選任

会長 （あいさつ）

5 諮問

市長から会長に対し，諮問書を交付

6 議題

第6次竹原市総合計画について

事務局 （資料1について説明）

第6次竹原市総合計画策定の進め方について

事務局 （資料2について説明）

会長 資料2について，現況分析・課題分析とあるが，アンケートを実施する際に，一般的な設問だけではなく，加えてほしいアンケート項目などの要望もいただきたい。

現行の計画を検証し，新しい計画にどう活かしていくかというPDCAサイクル（計画（PLAN），行動（DO），検証（CHECK），改善（ACT））の視点からの意見や，計画策定に関する疑問や提案をいただきたい。

委員 アンケート調査について，若い世代が，竹原市外に出てどれだけリターンしているのか，またなぜ戻ってきているのかを知りたい。

また，子育て世代の気持ちや若い世代の人たちがどのような夢を持ちな

から竹原市で生活をしているのか、10年先の希望を持ちながら生活しているのか、様々な属性ごとの統計をとっていただきたい。

委員　　ここ最近の創業者、廃業者の実態を、市全体でどのようになっているのかを調べていただきたい。業者数が減っていることは確かだが、今の時点で創業される方がどのような業態で創業されているのかを調べることで商工業の未来が見えてくるのではないかと考えている。

会長　　商工会議所の会員数の推移はどうなっているのか。

委員　　会員数は微増でほぼ横ばいとなっているが、全体的に事業規模は小さくなっている。

委員　　最近では町並み保存地区や大久野島などへの観光客が増えてきているが、観光客増加をいかに観光産業の発展に結びつけるか検討が必要である。そこで、市外から竹原市に戻ってきた方などに、外から見た竹原市の満足度、良い点・悪い点などをアンケートで聞いてほしい。

委員　　地域福祉の観点で、国も含めて地域共生社会の実現が言われている。すべてを行政だけが行うことは困難であり、老人介護や子どものことなど、地域でできることは地域で行うことが求められる。この地域共生社会の実現に向けて行政がどのように関与していくのか、この計画策定で方向性を出していきたい。

委員　　女性会として、高齢者の方が少しでも長く地域の中で、一緒に生活ができるよう手助けしたいと考えている。進学・就職で市外に出ている若い世代の方が竹原市に戻って来られるよう、竹原市から通学や通勤が出来るようになれば良いと思っている。また住みやすさ等のアピールを行うことで市外からの移住者が増えると良いと思う。

委員　　竹原市でも人口減少が進む中で、この先どうなるのかと思いながら生活している。現行の計画を見ると努めて希望を持つような明るい計画となっているが、無理をしている感じがある。これからも少子高齢化が進展することは明らかであるため、ネガティブな要素も含みながら、竹原市が単独

市制を続けるためにはどうすればよいかを考え、次期計画に盛り込んでいただきたい。

竹原市の新生児数は100人を切っているが、予算の関係などで学校などの施設数は変化のないまま老朽化していきっており、まちの衰退につながっていると感じる。少しでも明るいものが見える計画を作っていただきたい。

委員 老人の方の生活は病院通いとデイサービスが主体となる。病院やデイサービスから帰った後にどのような生活をしているのか、楽しみは何かをアンケート等で知ってもらえたら良いと思う。

スポーツの振興に関して、もう少し活発になれば、市外からの人の流れも増えるのではないかと考える。

会長 観光や特産品の開発等と合わせて現在既にある資源や資金をうまく循環させて、賢く使っていくことも、これから審議していければ良いと考えている。

追加意見があればメール等でいただきたい。

その他

事務局 次回審議会の開催は、平成30年3月下旬を考えている。

今回頂いた意見は取りまとめを行う。

次回の審議会で、現況調査や課題分析、現行計画の総括などの報告を行う。

7 閉会

以上